

67回委員会を傍聴しました。

〔意見〕

①私たちがさえ傍聴に際し「原案」には目をどうして参加するよう心がけている。責任ある委員が会議の中で「そのことが原案のどこにかいてありますか？」と聞くなど、私は耳を疑いました。委員長のご苦勞にご同情申し上げます。

②戦後最大の流量、もしくはそれ以上の場合を想定したダム対策等々を講じることは当然のこととおっしゃる池野委員のご発言でしたが、先の6年間を費やした流域委員会が出した結論を踏まえてのご意見だったのでしょうか？